

枚方市立川越小学校



「子どもが主役」の川越小

【子どもと共に育ち合う学校像】

「みんなが安心 みんなで創る

一人一人が輝く ごきげんに生きられる学校」

7
月
号

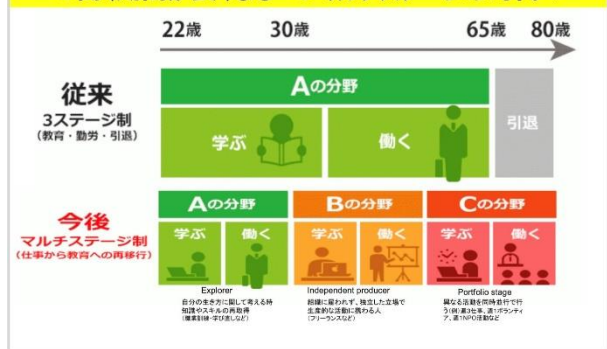
枚方市立川越小学校通信
令和7年7月1日
校長 吉川 茂樹
TEL 050-7102-9120

「人生100年時代」を生きる子どもたち

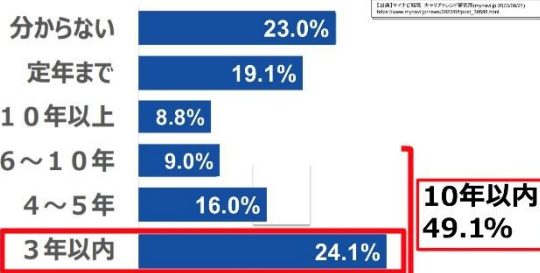


変化の激しい時代×人生100年時代

●働く期間が長くなる ●マルチステージの時代へ



2023年新入社員＜今の会社で何年働く？＞



転職は当たり前、その度に新たな適応、学習
先生がいなくても学ぶ経験・習慣も大事

先月の児童集会の時に「こうちょうせんせいクイズ」を出しました。問題は、「みなさんは何歳まで生きられるでしょうか？」です。答えは『107歳』。

「2007年に生まれた子どもが107歳まで生きる確率は50%」——そんな研究結果が発表されたのは、もうずいぶん前のことです。医学の進歩や生活環境の向上によって、いよいよ「人生100年時代」が現実のものとなってきました。

それに伴い、私たち大人の働き方や生き方も大きく変わりつつあります。かつての「教育→就職→定年退職」という一本道の人生モデルは、すでに過去のものになりつつあります。これからの時代は、学び直し、転職、独立、複業など、いくつものステージを経て生きていく、いわば“マルチステージの時代”です。

だからこそ、今、学校教育に求められているのは、知識を教えるだけではなく、「自ら学ぶ力」や「変化に適応する力」を育てることです。

社会の変化がますます速くなる中で、子どもたちが将来出会うであろう仕事や課題は、今の私たちにも想像できないものかもしれません。そんな未来を生き抜く力を育むためには、「先生がいなくて学べない」のではなく、「先生がいなくても、自分で学び続けられる」姿勢や習慣を身につけることが大切です。

本校では、探究活動や協働的な学びの中で、子どもたちが主体的に考え、対話し、挑戦する機会を意図的に取り入れていきたいと考えております。失敗や試行錯誤を重ねながらも、「自分で学び、成長する喜び」を実感していく——そのような教育こそが、これからの時代に必要不可欠であると考えています。保護者の皆様とも、子どもたちの「未来を生きる力」について、これからも一緒に考え続けていきたいと思っております。

学校ブログ

